〈 第1回 〉　　　　　　　　「活動拠点を考えよう！」

議事要旨

日　時　：2020年11月4日(水)19時～21時

場　所　：瀬戸市八幡台地域交流館（八幡台集会所　横）

講　師　：谷田 真（名城大学 理工学部 建築学科 准教授）

参加者　：19名

配布資料：プログラム、ワークショップの案内(講師情報掲載)、空き店舗活用の記録、みんなの会の2020年度活動スケジュール、谷田先生発表スライド、アクティビティ発想シート

-----------------------------------------------------------------------------------------------

１.はじめに

　　瀬戸市　：開会のあいさつ

　　伊藤会長：あいさつ

　　コンサル：本日の目的と流れ

　　コンサル：これまでの「みんなの会」の活動振り返り

　　　　　　　※詳細内容は別添資料①、②参照

２.谷田先生からの話題提供①

　　谷　田　：「自己紹介」

　　　　　　　　・建築学科の教員として、日々学生と建築のデザインや街づくりに関することも行ってきた。その中で場がもつチカラを信じており、活動拠点は必要と考えている。

　　　　　　 「これまでの取組紹介」

　　　　　　　　・美術館の階段を使った居場所の作り方

・学童保育の新たな空間作りから生まれる居場所について

・知立団地の空き店舗活用事例「みんなのリビングファクトリー」について等

　　　　　　 「ファニチャー(家具)＋αがもつチカラ・ものづくり(プロセス)がもつチカラ」

　　　　　　　　・ファニチャー(家具)などを一緒につくることで団結力が生まれたり、一定期間を要して作成するため、作成したファニチャー(家具)はもちろんのこと、作業場にも愛着が沸くことが期待できると考えている。

　　　　　　　※詳細内容は別添資料③参照

３.ワーク①「拠点の使い方を考えよう(前半)」

　　グループ：活動拠点の使い方を付箋紙に書き出し、グループ内で共有

　　　　　　 （誰が使うための拠点とするのか、どんな役割を持つのか等）

４.谷田先生からの話題提供②

　　谷　田　：「アクティビティ発想シート」の説明

　　　　　　　・こんな仕掛け(家具)があれば○○できる！もし自分ならこの家具を使って○○したい！などの発想が膨らむようにヒントとして活用

　　　　　　　　※詳細内容は別添資料④参照

５.ワーク②「拠点の使い方を考えよう(後半)」

　　グループ：谷田先生からの話題提供②を受けて、活動拠点の使い方の案を付箋紙に書き出し、

グループ内で共有

６.共有の時間

　　グループごとにまとめた意見を全体で共有

　　※発表の詳細内容は別添資料⑤参照

７.まとめ

　　コンサル：各グループの発表まとめ

　　谷　田　：全体の総括

　　　　　　　※詳細内容は別添資料⑤参照

　　コンサル：次回案内（第2回12月下旬、第3回1月下旬）※予定の変更の可能性あり

　　瀬戸市　：ワークショップ記録を後日共有する旨を案内

　　瀬戸市　：閉会のあいさつ